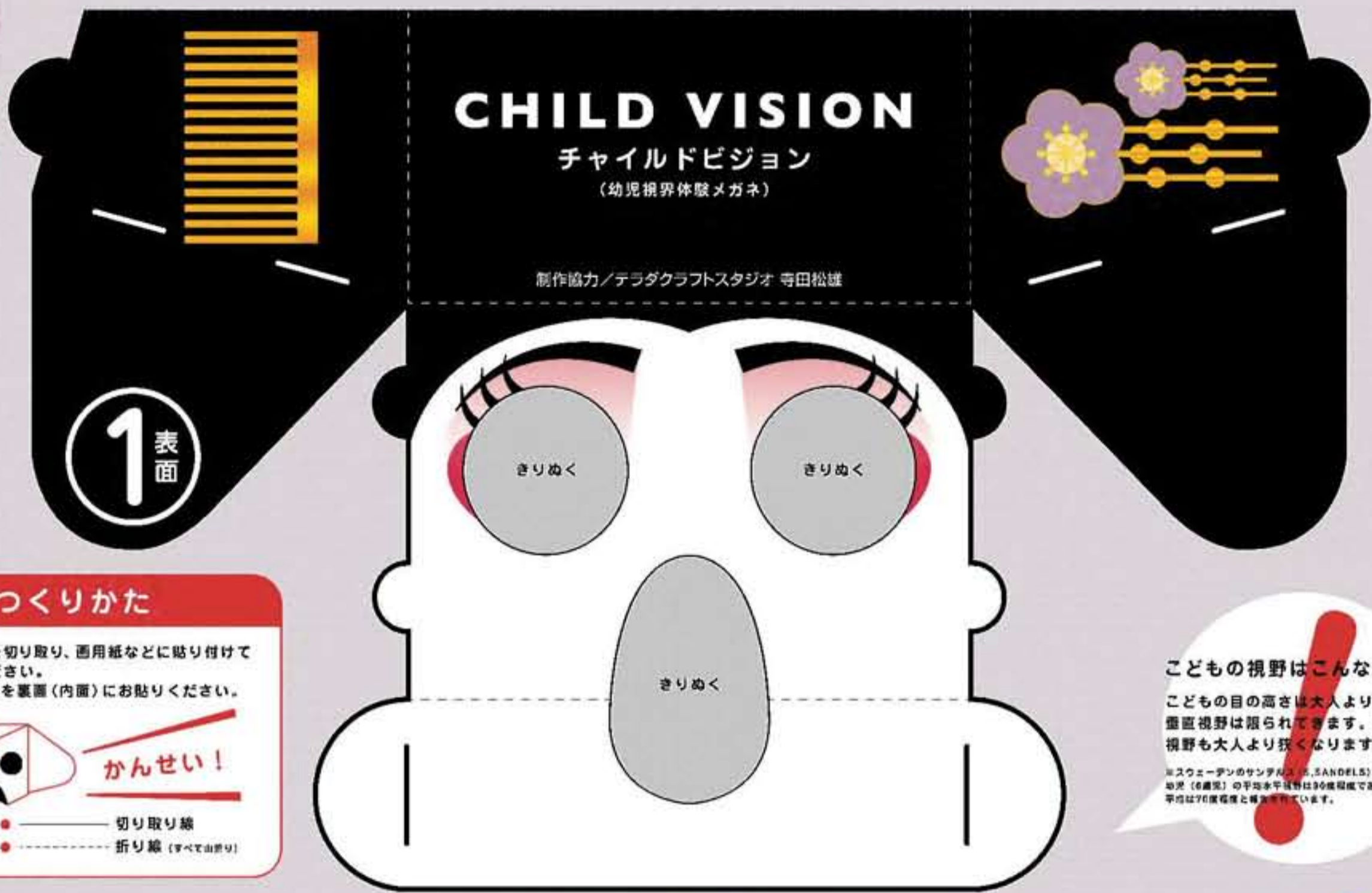


こどもの視界で、みてみよう。



1 表面

つくりかた

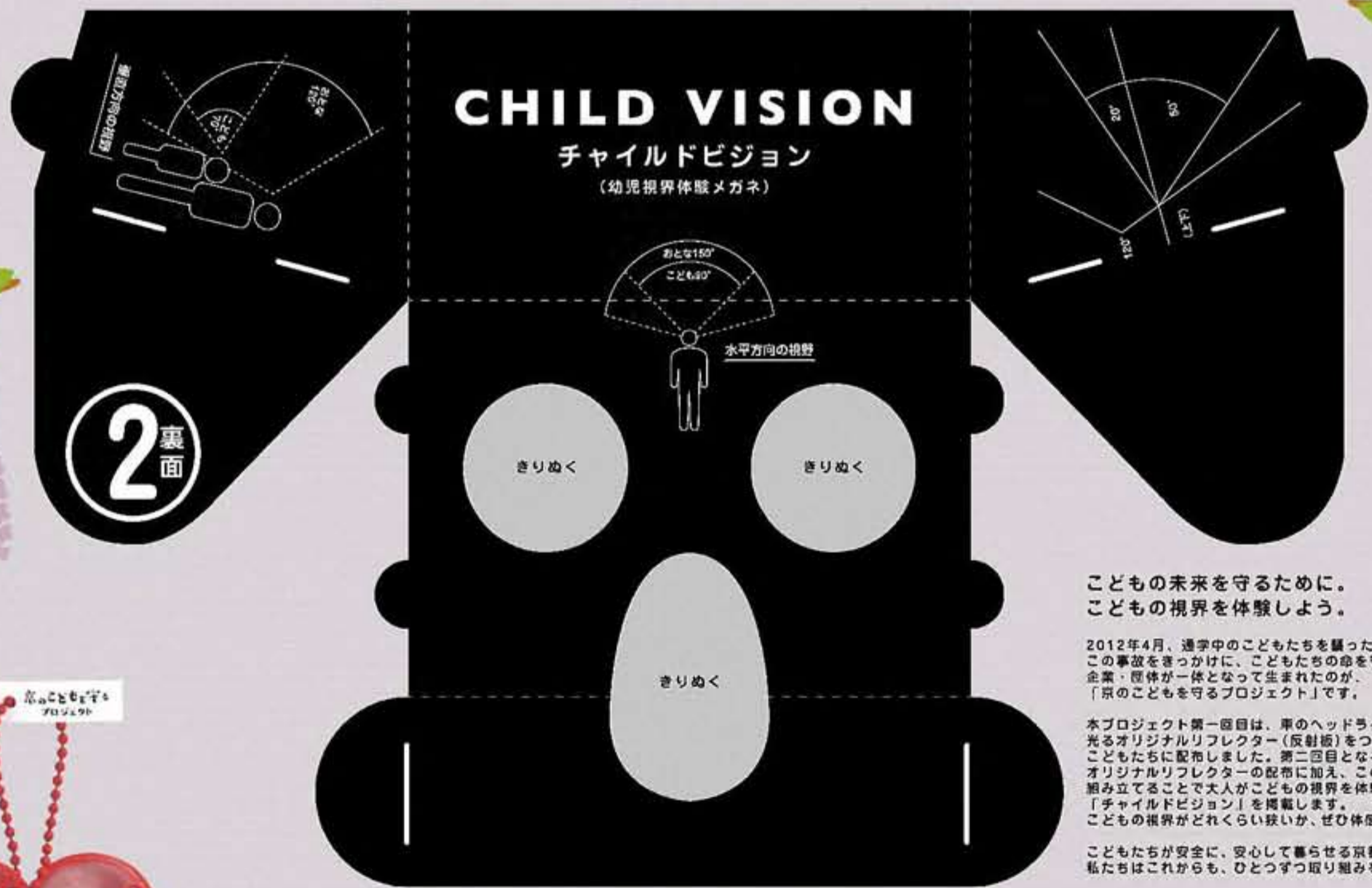
この広告紙面を切り取り、画用紙などに貼り付けて組み立ててください。
①を表面に、②を裏面(内面)にお貼りください。



こどもの視界はこんなに狭い!

こどもの目の高さは大人より低いため、垂直視野は限られてきます。また、水平視野も大人より狭くなります。

※スウェーデンのサンデルス(SANDERUS)の研究によれば、幼児(6歳児)の平均水平視野は約90度程度であり、垂直視野の平均は70度程度と報告されています。



2 裏面

こどもの未来を守るために。
こどもの視界を体験しよう。

2012年4月、通学中の子どもたちを襲った痛ましい事故。この事故をきっかけに、子どもたちの命を守りたいと願う企業・団体が一体となって生まれたのが、「京の子どもを守るプロジェクト」です。

本プロジェクト第一回目は、車のヘッドライトに反射して光るオリジナルリフレクター(反射板)をつくり、京都府下の子どもたちに配布しました。第二回目となる今回は、オリジナルリフレクターの配布に加え、この新聞広告を組み立てることで大人がこどもの視界を体験できる「チャイルドビジョン」を掲載します。こどもの視界がどれくらい狭いか、ぜひ体感してみてください。

子どもたちが安全に、安心して暮らせる京都をめざして、私たちはこれからも、ひとつずつ取り組みを進めていきます。

京の子どもを守るプロジェクトとは、京都のこどもの交通事故防止のため、企業・団体が一体となって取り組む社会貢献活動です。

この企画ではどんなことをするの?

スウェーデン生まれの交通安全グッズ「グリミス」のリフレクター(反射板)を企業・団体から募ったお金で、オリジナルデザインの別紙をつけて製作。京都府交通安全協議会へ寄付した上で、4月11日「こどもの交通安全啓発推進日」をきっかけに、京都府下のさまざまな場所で配布しています。現在は全19種類、これら配っている人を見かけたら、「おとつください」とお声がけください。



「グリミス」ってどんなもの?

「グリミス」は、スウェーデンのママ2人の「子どもにやさしい交通安全グッズ」を作りたいという思いから生まれたリフレクター(反射板)です。縦横でも車のライトを反射し、ドライバーに歩行者の存在を知らせることが出来ます。ヨーロッパを代表する交通安全推進団体のスウェーデンでは、子どもから歩行者まで人口の約20%がリフレクターを装着しています。



京の子どもを守るプロジェクト

オリジナルタグ付「グリミス」
※全19種類あります